

しろや！ 広島城

Let's know Hiroshima Castle.

No.9

広島城天守閣は平成20年(2008)に再建50年を迎えます

原子爆弾によって広島城の初代天守閣が倒壊した後、広島復興のシンボルとして現在の天守閣が再建されたのは、昭和33年(1958)のことでした。あれから48年の年月が流れ、来る平成20年(2008)6月には、現在の天守閣は再建50年を迎えます。

そこで、「しろや広島城」では、再来年6月の再建50年の節目を迎えるまで、“広島城の50年”をテーマとした連載を掲載します。この連載をとおして、広島城天守閣50年の歩みについて、皆さんとともに見つめ直していきたいと思えます。

ひろしま歴史の小耳 8

(「広島城の50年シリーズ①」)

復興の槌音と共に -二代目天守閣の短い生涯-

昭和20年(1945)8月6日、毛利輝元によって建てられた初代天守閣は、一発の原子爆弾によって、大音響とともに倒壊しました。現在、皆さんが目にする天守閣は、昭和33年(1958)に鉄筋コンクリートで復興されたもので、初代天守閣から数えると三代目となります。

三代目ということは、二代目があったの、それはいつ建てられたの、と疑問に思われる方も多いのではないのでしょうか。

実は、三代目が復興される以前、原爆によって初代天守閣が倒壊して失われてからわずか6年後の昭和26年(1951)に、二代目の天守閣が再建されたのでした。

二代目天守閣は、昭和26年に開催された第6回国民体育大会(国体)の協賛事業、体育文化博覧会(通称スポーツ博)の開催に伴って再建されたもので、三代目とは異なり、木造の仮設建築物でした。内部は「郷土館」として利用され、広島城のパノラマ模型や、都市、観光、産業に関する資料などが陳列され、展望室も設けられました。また、夜は四方からライトアップされました。



二代目天守閣を背景に記念撮影(南から)

昭和26年(1951)4月

松木亀次郎氏蔵

広島市市民局文化スポーツ部文化担当提供

出入り口は南・東の二方向に設けられ、南・東の小天守台に設置された仮設のスロープを通過して出入りしていたようです。また、天守閣の外に見られる乗り物は、当時アメリカで流行していた「スイッチ・バック・レールウェイ」という最新の乗り物です。これは、今日で言うところの絶叫マシンの先駆けで、博覧会の呼物となっていたようです。



二代目天守閣とスイッチ・バック・レールウェイ
昭和26年
藤本博光氏蔵・提供

なお、二代目天守閣の着工及び竣工の時期は不明ですが、3月中旬には、8割方完成と新聞が報じています。二代目天守閣は、博覧会期間中 当初の会期は3月25日から5月27日までの64日間。実際には、1週間延長しました)びくともせず、10月14・15日に中国地方を横断し甚大な被害をもたらしたルース台風にも耐え、秋季(10月27日～10月31日)の国体終了後に取り壊されました。

ところで、二代目天守閣が再建された体育文化博覧会とは、どのような博覧会だったのでしょうか？

当時の新聞記事によると、天守閣以外にも、次のような施設が設けられたようです。スポーツ館、輝く健康館、婦人館、ムービーハウス、野外演劇場、競技場、飛行塔、コースター場、ロープウェイ場、動物園、遊戯場、スポーツ博記念タバコ製造実演場、スポーツ図書室、屋外大パノラマ

スポーツ館では、国体の優勝都道府県に送られる天皇杯、昭和24年(1949)に広島市で開催されたマッカーサー元帥杯競技大会の優勝カップ、織田幹雄らトップアスリート達が獲得した優勝カップ・メダル、プロ野球各チームや広島出身の力士安芸の海からの出展品など、1,000点を越える資料が展示されました。開催して間も無い4月4日の新聞には、「スポーツ博へ二万人の人波」という見出しが見られ、博覧会は当初から非常に好評だったことがうかがえます。

ごく短命に終わってしまった二代目天守閣は、当時の人々にどのように受け止められたのでしょうか？

3月13日の新聞では、**「あの水都の象徴であった鯉城が原爆以来五年目にふたたび出現、広島市民の郷愁を呼び起こしている」**(原文ママ。ルビは追加)と報じています。原爆によって初代天守閣が倒壊してから6年、復興の槌音に呼応するかのよう^{つちおど}に再建された二代目天守閣を、戦災から立ち直っていく広島と重ね合わせて見つめた人も、決して少なくはなかったことと思われ^まます。

その意味では、二代目天守閣の果たした役割は、博覧会だけに留まらなかったのではないのでしょうか。実際、この二代目天守閣の再建は市民の天守閣への関心を高め、その後三代目の再建を求める世論のきっかけとなりました。(篠原)

〔参考文献〕

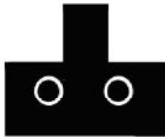
- 中国新聞 昭和26年2月28日、3月13日、3月26日、4月1日、4月4日、4月7日、4月12日
- 広島市企画調整局文化担当 広島市博物館資料調査報告書Ⅶ スポーツ文化広島100年』広島市企画調整局文化担当、1986
- 広島市企画調整局文化担当 『広島スポーツ100年展』(展示用解説パンフレット)広島市企画調整局文化担当、1986
- 財団法人広島市歴史科学教育事業団 広島城編 『天守閣再建物語 ～広島城の戦後～』財団法人広島市歴史科学教育事業団 広島城、1993
- 高橋衛監修・被爆50周年史編集研究会編 『被爆50周年 図説戦後広島市史 町と暮らしの50年』広島市総務局公文書館、1996

展示室でみつけたよ

うまじるし たいよう
馬印 は大将 の印



おなじみ
歴史の勉強中
しろうとくん

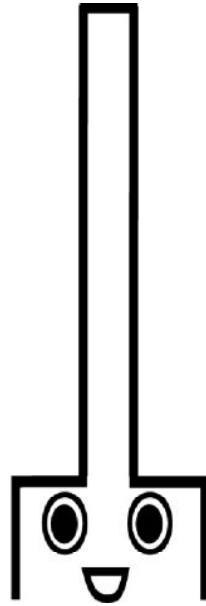


2回目の登場
くろうとくん

広島城の第三層には、馬印という展示品があるね。説明を読むと、浅野幸長が使用した、戦いの時に総大将がいる位置が分かるようにした目印なんだって。でも、お侍の位置が分かったら、戦いに不利になるんじゃないかな。一騎討ちとかもあつたらうからね。

ううう、しろうとくんよ。浅野幸長は浅野長晟（広島藩初代）の兄。つまりが使用したのは戦国の世、その頃の戦いは、集団で戦っていたので、味方にも総大将がいる位置が分かる必要があつた。この馬印だと、棒の上につけて、遠くからでも見えるようになっていた。よく見ると、真ん中のあたりに穴が開いている。鉄砲の跡だといわれているので、じっくり見てみよう。

(玉置)



馬印

おしえて! 広島城博士 7

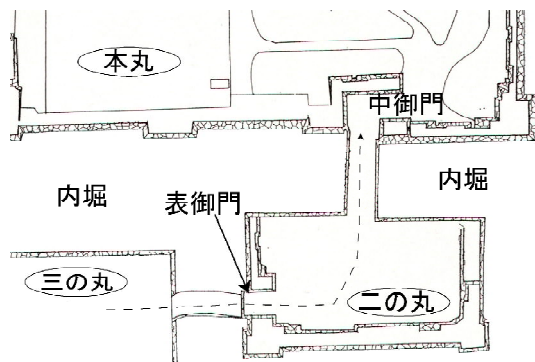
さあ、何でも聞いて
ごじゃれ!
今回の質問はこれ!



Q. 広島城の二の丸って何のためにつくられたの?

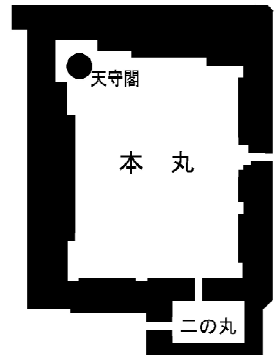
天守閣がそびえている本丸から南側に飛び出ている場所が二の丸じゃ。本丸に比べると小さいし、実は人が住めるような建物もつくられておらん。いったい何の役にたっておったのか分かるかのう。

先に答えを言うとじゃな、二の丸は本丸を守るためにつくられたんじゃ。下の図を見てみよう。中御門というのは本丸の正面玄関にあたる重要な



二の丸拡大図

門で、二の丸はこの門の前につくられている。もし、三の丸側から敵が攻めて来て本丸に入ろうとしたらどうじゃろう。まず狭い橋を渡って二の丸に入らなくてはならん。でも、まず表御門に行く手を阻まれ、門の上の櫓から攻撃を受けることになる。もし橋が落とされたらもっと攻めにくくなるぞ。やっと二の丸を突破してもまた狭い橋を渡らなきゃならず、今度は本丸側から攻撃を受けるというわけじゃ。二の丸の北面(本丸側)には櫓も櫓台もつくられていないんじゃが、これは、敵が二の丸を突破して来た時、本丸側から攻撃しやすくするためなんじゃよ。逆に広島城の兵が本丸側から三の丸側に出撃する時にも、



本丸・二の丸位置図

二の丸がその拠点となった。二の丸には櫓以外の建物が少なく、東半分は番所や馬小屋が置かれておった程度で、西半分は空き地にだったんじゃが、ここに兵が集められたんじゃのう。このように、二の丸は本丸の守りを固めるという重要な役割をはたしておったんじゃ。あ、じゃがな、広島城でいくさは一度も無かつたんじゃよ。

(本田)

まんきつ 広島城で秋を満喫！

広島城では、常設展示のほか、企画展示、フィールドワークや講座など様々な方法で歴史について皆様楽しんでいただける事業を実施しています。この秋に予定しているものをいくつか紹介します。詳しくは市民と市政や、チラシ、ホームページなどを見てね

★広島歴史を知りたい

企画展「お城めぐり展—山陽路の城」

9月9日(土)～10月17日(火)

企画展「岡岷山展」

10月21日(土)～11月19日(日)

歴史系4施設ジョイント事業

10月1日から2月28日までスタンプラリーをします

参加賞あり。その他、抽選で景品が当たります

★家に持ち帰って歴史を楽しみたい

当館ミュージアムショップがあります。企画展の図録

のほか、武将グッズも新発売の予定!!!

★広島城の歴史を深く知りたい

企画展展示ガイド

毎週日曜日14:00から実施

広島城学講座「二の丸夜話」

テーマ：毛利氏と広島城(全3回)

10月25日(水)～27日(金)の18:30～20:30

※申し込み必要

★楽しみながら広島歴史を知りたい

岡岷山が見た縮景園

企画展・縮景園を見学し、岷山と縮景園について解説

11月18日(土)9:00～12:00 ※申し込み必要

私のおすすめスポット 広島城周辺の像

みなさんは、お城をおとずれた時に、銅像を目にしたことはありませんか？ たいいていのお城には築城者やその土地の歴史上有名な人物などの銅像が建っています。そのため、銅像によって、そのお城の歴史を印象づけられることもあります。

それでは、広島城には誰の銅像があるのでしょうか。広島城周辺の銅像は、一般的な来城コースから少し外れているので、地元の方でもご存知ない方がいらっしゃるかも



雪化粧でたたく池田勇人像

しれません。広島城跡を東側から出て堀を渡ると護国神社の鳥居が建っています。その鳥居の南側そばの緑地帯には、池田勇人の銅像があります。池田勇人は竹原市吉名町出身の政治家で、昭和35～39年(1960～64)まで内閣総理大臣として高度経済成長をリードしました。

また、内堀の西側を南北に通る国道54号に沿っ

た緑地帯には、灘尾弘吉の銅像がたっています。灘尾弘吉は江田島市大柿町出身の政治家で昭和54年(1979)には衆議院議長を務めています。

こうして見ると広島城の傍には、広島城に関する歴史上の人物の銅像は無く、400年以上歴史のあるお城としては、少し寂しい気がします。

そこで、銅像ではないのですが、広島城の歴史を感じさせる像の一つをご紹介します。内堀西側の国道54号を横断し、中央公園に入ると題された鯉の像があります。広島城は別名「鯉城」と呼ばれ、この別名にちなんで造られたものです。鯉城の由来は諸説あり、一説には、広島城のある付近一帯が己斐浦と呼ばれていて、そこから転じて「鯉城」となったとされています。ただ、江戸時代後期の儒学者頼聿庵は「鯉魚城」「鯉城」という言葉を記して



鯉の像「飛躍」

おり、少なくともその頃には「鯉城」という別名があったようです。また「鯉城」は広島カープの名前の由来ともなっており、この「飛躍」像は、広島や広島城の歴史を感じさせる像といえるのです。(田村)

しろや
!
広島城

編集・発行

財団法人広島市文化財団 広島城

730-0011

広島市中区基町21-1

電話：082-221-7512

FAX：082-221-7519

平成18年9月21日発行

広島城利用案内

開館時間：9:00～18:00(10月13日・14日は19:00まで延長)
(12月1日～2月末日までの平日は9:00～17:00)

入館の受付は閉館の30分前まで

入館料：大人360円(280円)

小人180円(100円)

()内は30名以上の団体料金

休館日：12月29日～1月2日

ホームページ：<http://www.mogurin.or.jp/rijo.html>